

データ番号	408
効用の種類	物理・化学作用による環境改善効用
見出し	小葉で生長の早い植物は大気浄化能力が大きい
出典	(『環境を創造する』日本放送出版協会) 「造園学からの提言」1. 環境保全の技術 三沢 彰
内容	植物は、葉の突起(鋸齒や毛など)等に粉塵などの汚染物質を*吸着させて除去し、ガス状汚染物質は**吸収によって除去する。粉塵を効率よく吸着させるためには、小葉で複雑な葉面構造で、通風性のある(あまり枝葉密度の濃くない)植物を、汚染源近くに植栽すると効果的であり、また、ガス状汚染物質は光合成によって吸収される二酸化炭素とほぼ同量が吸収されるため、光合成を活発に行う生長の早い植物を用いると効果的である。
備考	*吸着: 外面上に付着し捕捉されること **吸収: 植物体内に侵入し捕捉されること (参考) 大気の浄化機能を生かす植栽場所 ○中央分離帯の緑化 ○歩道の植栽 ○生垣の推進